

Si-R GX500 V01.15 変更内容一覧

□機能追加・改善

No.	項目	内容
1	PPPoE	以下の対応を行いました。 ・LAN 型接続に対応しました。 ・PPPネゴシエーションが完了しない場合にPPPoEを再接続するよう見直しました。
2	OSPF	デフォルト経路を広告しないように変更しました。 (default-information originate設定時)

Si-R GX500 V01.15 変更内容一覧

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V01.00～V01.14 IPsec機能利用時	IPsec/IKEv2において、IPsec SA更新時に特定のペイロードを受信した場合、IPsecがすべて切断される場合がある。(ikeプロセスが再起動する)
2	V01.00～V01.14 IPsec機能利用時	複数のCA証明書が登録されている場合に、PKI機能にてIPsec接続できないことがある。
3	V01.00～V01.14 OSPF機能利用時	ネイバーが広告してくるAS外経路のForward addressがarea range設定で集約されるDISCARD経路のみに含まれている場合、OSPFプロセスが再起動し一時的に経路制御できなくなる。
4	V01.00～V01.14 IPsec機能利用時	NAT-Traversal機能使用時、crypto session identification address設定が有効であると、セッション重複として接続済のIPsec接続が切断されることがある。
5	V01.00～V01.14 IPv6機能利用時	IPv6を中継するポートチャネルのインタフェースのダウン/アップが繰り返されるような場合に、装置が再起動することがある。
6	V01.02～V01.14 L2TP機能利用時	L2TPv3 over UDP環境にてNAT機能併用時、パケットが中継できない。
7	V01.00～V01.14 データ通信モジュール機能 利用時	データ通信モジュールを経由した通信（モデムモード）にて、パケットデータが破損した状態で送出されることがある。
8	V01.00～V01.14 アプリケーションフィルタ機能 利用時	telnet/ssh/ftp/dns機能にてフィルタリングを行う場合に、access-listで設定したフィルタリングが正しく動作しないことがある。
9	V01.00～V01.14 トンネルインタフェース機能利 用時	トンネルインタフェースに向けたスタティック経路を使用している運用構成において、トンネルインタフェースダウン中にネクストホップを管理する装置内ID割当て経路やARPの追加/削除にてラップ(一巡)した場合、トンネルインタフェースアップ後に中継できなくなる場合がある。
10	V01.00～V01.14 ブリッジ機能利用時	jumbo frame(1656bytes以上)をブリッジ中継(tunnelインタフェースを含む)にてtag操作を行うような場合、パケット中継できなくなる。
11	V01.00～V01.14 ネットワーク制御(経路制御 やVRRP)機能利用時	プロセスが異常終了した場合、各種機能(VRRPや経路制御等)が正常に動作しなくなることがある。
12	V01.01～V01.14 NAT機能利用時	特定のftpサーバ(SJIS対応のみ)との通信がNAT変換対象である場合にftpに失敗することがある。
13	V01.00～V01.14 BGP機能利用時	BGP機能とVRRP機能併用時、VRRPバックアップルータ側でBGPネイバーとセッション確立できない。
14	V01.02～V01.14 bfdコマンド実行時	clear bfd sessionコマンドを連続して実行していると、static経路連携のbfdセッションがすべて削除されることがある。
15	V01.02～V01.14 bfdコマンド実行時	offline gigaethernetを実行時、show bfd session detailコマンド結果のLast session down timeが更新(反映)されない。
16	V01.00～V01.14 SNMP(トラップ)機能利用 時	nosErrorトラップのOID割当てが富士通拡張MIBでのOID割当てになっていない。
17	V01.14 IPsec HAライセンス商品使 用時	IPsec HA構成でのIKEv1 SA同期処理において、装置起動後の一斉同期などでIPsec SA登録中にIKE SAが削除された場合に、IPsec SAの登録に失敗する。
18	V01.14 IPsec HAライセンス商品使 用時	IPsec HA構成にてIKEv1/IKEv2混在時に、SA情報が登録されない場合がある。